

日々の田高（英語コミュニケーションⅠの授業から）

今回は、英語コミュニケーションⅠの授業を紹介します。

Lesson 6 「Could We Have a Real Jurassic Park?」の単元の初回の授業です。

先生方は、単元の初回の授業をととても大切にしています。生徒の皆さんが、その単元の学習に関心を持ってくれるような、導入を考えます。

今回の単元は、ジュラシックパークの映画につながる内容です。

dinosaurs（恐竜）について、知っていることを、ペアで話して共有します。具体的には、先生から、長さ（全長）や高さ、何を食べているのかなどなど、英語で問いかけられて、生徒たちがそれぞれ答えていきます。その後、本文を読み始め、生徒たちが、流れを大まかにわかってきます。



この授業では、映画のワンシーンから、俳優さんが話すフレーズを聞き取るワークがありました。

ゆっくり再生していきます。生徒たちは、耳を澄まします。

先生から、「コツは最後のフレーズですよ。」というアドバイスの元、何度か再生する中で、聞き取った単語を、生徒たちが答えます。あちこちから「あー。確かにー。」という声。

全てがわかったところで、全体を聞き、確認します。そのフレーズは、次のとおり。

We're gonna make a fortune with this place

「こりゃ大儲けできるぞ」

映画のセリフを原文のまま自分たちで聞き取ることができたことで、外国の映画を身近に感じたり、外国の方との距離を縮めたり、英語を身近に感じ、自分事としてとらえてほしいという先生の願いが込められています。

生徒たちは、映画の中のセリフを自分たちで解読した達成感により、すっかり引き込まれるとともに、人間の一面を感じる時間となりました。